

～ Serving the Community and Supporting the YMCA since 1976 ～



埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

月間テーマ：Movement Awareness

2024年
9月



2024-25 年度クラブテーマ「市民と繋がろう・市民に知らせよう」



国際大会@チェンマイ
8月7日～12日

9月例会はジェンダー学習会。男優先社会だから世間の鑑定に悩む男達がいる。日本独特の組織体質も議論に。23日特別企画「医師中村哲の仕事：DVD鑑賞と話し合い」を実施。表紙は8月のY's国際大会@チェンマイの風景。詳しくは次頁参照。



昨年3月台北で100周年を祝ったあと、最初の国際大会が8月初旬にチェンマイで開催された。ワイズの国際的な大会には慣れっ子のメンも今回は特別だったはず。欧州と中東では戦禍が、ミャンマーでは内戦が続く中での開催だったからだ。共に平和を祈り、絆の大切さを噛み締めることができた。感謝。



今月の聖句

「強くあれ、雄々しくあれ、彼らを恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主ご自身があなたがたとともに進まれるからだ。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。」

(申命記 31 : 6)

9月「暑秋」例会（終了）

日時：9月21日（土）14:00～16:00頃
会場：市民活動サポートセンター（浦和駅パルコ9）
プログラム：ジェンダー学習（その8）

9月夜談会（終了）

日時：9月9日（月）午後6時～8時
会場：サイゼリア（浦和駅東口）
・気楽に知り合い、見識を深める拓けた大人の会

◆◆◆ エッセー ◆◆◆

国際大会@チェンマイに参加して

* 上松メンと浅羽メンの大会感想文を掲載する。

◆ Y's を地球市民運動に成長させたい！

浅羽俊一郎



「国際大会こそ鴨の味！」

日頃はクラブ単位で狭い地域で活動をしているが、国際大会と地域（ブロック）大会は毎年交互に開催される。歴史/習俗/言語を異にする大勢のメンが英語を共通言語に、隣人愛・サービス精神・個性尊重の価値観を共有して各地から参集する。業者任せにできない諸々の準備と運営も長年国際イベント・会議を実施した経験の積み重ねがまさにモノを言う。もちろん参加者も同志。協力を惜しまず、感謝を持って活動に臨む点は恵まれている。それにしても520人が参加した今大会をホストしたチェンマイY'sとサポート役のチェンマイYMCAの努力と連携とは実に見事だった。

私はチェンマイY'sのラチャン氏（ホスト委員長）や他の知合いに会いたいのと、上松メンと一緒にいきたい気持ちとで、早くから参加を決めていたが、ホスト委からは私の出席を前提に、聖歌隊の編成と讃美歌用意を頼んできた。

（これは素人の私が昨春のY's百周年音楽プロジェクトの委員長を務めたことを一部メンが覚えていたため）さらに直前になって韓国Y's発案で会期中に「平和コンサート」をするので日本勢は「ひろしま平和の歌」を歌ってもらおう、と直前にメール。慌てたが、一人でも歌うという参加者に励まされて有志



で練習し発表できた。発案した韓国メン（女性）の平和への祈りに感動した。（表紙写真）

印象二点を述べて締めくくる。まず今大会が過去最多の女性メンの参加を見たこと。壇上に全員上がった図は壮観。（写真）また健康ゲーム大会（東欧案）や参加国の民族衣装ショー（香港案）も女性メンがリード。男どもは皆ただ大喜び。実はホストのチェンマイY'sもほとんどが女性。

もう一点は同時開催されたパリ五輪との違い。スポンサーの利益や国際政治を超えて、未来の地球市民社会を多くの仲間と先取りできた。国際交流をしないメンはY'sの本当の妙味を知らない。

モン族や河川浄化の話は別の機会に譲る。◆

* 写真はラチャン（中央）・中井メン（奈良）と。

◆ チェンマイ大会に参加して

上松寛茂

タイ北部のチェンマイで開催されたワイズメン国際協会の「2024国際大会 in チェンマイ」（8月8～11日）に参加した。8月7日午後、成田空港から韓国インチョン空港経由でチェンマイには夜中の零時過ぎに到着。ホテルでは東日本区理事の山田公平メンと相部屋。翌8日



（木）16時過ぎから開会式。世界30カ国74都市から約520人（日本は東西日本区から計57人）が参加した。各国代表が国旗を持って入場。

YMCAはジュネーブに世界同盟を置く国際社会教育団体であり、120余カ国でそれぞれ独立体として活動を展開。そのサポーター組織ワイズメンズクラブもYMCAと共に歩みを続けてきた。その国際性を体感できる国際大会への参加が今夏ようやく実現した。

大会報告によると、ワイズ運動はコロナ禍でも順調に伸びていて、最近ではケニア、ウガンダなどアフリカ諸国を中心に20カ国で新クラブが設立している。晩餐会では各国のカラフルな民族衣装に身を包んだワイズメンが次々と現われ、日本の参加者も多くが浴衣姿。まるでファッションショー。



浴衣美人を撮る。左から石巻2・厚木・千葉のメン。

またワイズメンがクラブを超えてチームを作り一緒に輪投げやスプーンゲーム、二人三脚など遊びを採り入れた交流ゲームが展開された。国際会長の就任式や各種表彰式のセレモニーに加えて、あまり会話を必要としないワイズメン同士の体当たりの触れ合いができたのは何よりの幸이었다。

コース別エクスカージョンではチェンマイYMCAを表敬訪問した。地球温暖化防止用の植林活動について総主事から説明を受けた。森に囲まれた素晴らしい環境で子どもや若者が笑顔で活動している姿に接し、YMCAの存在意義をあらためて認識したものだ。

会期中は観光はしなかったが、閉会後の空港に向かう途中、子どもから大人まで女性が首リングをいくつもつけた姿で有名な首長族（カレン族）の村を

訪ねた。ミャンマーからの難民が多いという。夜中のチェンマイ空港から成田空港に帰着したのは12日正午過ぎ。

耳が遠くなり、会期中の言葉のやり取りもままならなかったが、知らなかったワイズの広い世界に接することができた有意義な旅だった。❖

活動・会議メモ

◆ 「9月夜談会」



9日（月）18時、浦和駅東口サイゼリアで開催。前々日に帰国したばかりの浅羽会長は多少時差ボケぎみだったが、ほかは皆様々な話題で盛り上がった。中村哲医師 DVD の鑑賞会を2週間後に控えて打ち合わせもし、上松、浅羽は前月のチェンマイ国際大会の感動写真を回覧したが反応は今イチ。後半は「ワイズは政治や宗教とどう向き合うか」というテーマをいただいた。十分話せなかったが、今の社会に目を向けていれば、何らかの意見を持たないわけにはいかない。大切な問題提起である。

＊7月ブリテンにも書きましたが、夜談会を今後は市民ボランティアたちの「居場所」としてアピールしたいと思います。（浅羽 記）

出席者：堀和（はが）、大輪、浅羽、森下、麻生、浅香、上松、高岡（姓のみ・敬称略）

◆ 9月「暑秋」例会



9月21日（土）さいたま市サポセン（パルコ9階）で例会を開催した。ジェンダー学習（8）ということで浅羽メンが担当。発題のテーマは「ケースワーカーに見る男性像の変化」として、男優先の社会にありながら、長引く不況と就職難の中、世間の無言の圧力/期待に苦しむ若い男性たち、以前は女性の仕事とされていた労働力再生産系の仕事（主夫・子育て・介護）を選ぶ男性たちのアイデンティティ危機を紹介。

話し合いに移ると日本の官僚機構にキャリア・ノンキャリアのことなどが話題に上がった。少人数だけに自由に話せる充実した時間だった。事務連絡では新バナーは試しに襟なしTシャツを使うことにした。原 Ys（富士五湖）にデザイン案を依頼することにした。

出席（姓のみ・敬称略）：上松、衣笠、水無瀬（ZOOM）浅羽、高岡（ゲスト）

◆ 「中村哲の仕事：DVD鑑賞と話し合い」



去る9月23日（祝）に埼玉クラブ主催の標記の企画を「き咲きてらす」で実施した。

きっかけは今年2月に都内で上松メンや元リーダーとDVD「医師 中村哲の仕事」を鑑賞し、グループで意見交換したこと。その後自分たちでもこの



DVDで中村医師のことを伝えようとなり、「き咲きてらす」を会場に選んだ。で、地域奉仕やボランティア活動をしている人たちに呼びかけ、話し合いの

時をたっぷり取ることにした。当日は 19 人が出席した。Y・Y's 関係者とそれ以外の地域活動家が半数ずつ。鑑賞後、グループに分かれて 1 時間半話し合った。日頃の体験や悩みをシェアできて良かった、と好意的な意見と、次なるステップを考えるように、との課題もいただいた。

がすべきこと。今回のセミナーをそれで終わらせずに、地域の若者の就職問題と今後とこれからも向き合っていく。詳細は APAY ニュース（オンライン）で。

仲間からの便り



◆ 今月の俳句 堀和光二郎メン（俳号 愚道）

「同じかな昨日の蝉と今日の蝉」
同じ声で鳴く蝉も昨日の蝉とは違う
だろうな。儂い蝉の一生を想います。



「被災地の新酒に挑む杜氏かな」
テレビで観ました。大地震ですべてを
失った酒造

りの若き杜氏が無印の酒瓶の味をもう一度復興
させたいと頑張っています。

「月明り我を照らすも影はなし」
明るく照らしてくれる月も私の影は映らないそ
んなもんだよな。

* 9 月は何か物思ふ頃のように、感傷的になります。

浅羽メン

1984 年春、私は UNHCR の初仕事で家族同伴でペ
シヤワールでの新しい生活に着手したところでした。
ある日日本人留学生が紹介してくれたのが中村
哲医師でした。ハンセン病関係の話が多かったです
が。患者の多くがアフガン難民だと知って関心はア
フガニスタンへ。私の転勤で 1987 年暮れにご一家
と別れ、先日ワイズ仲間と先生の DVD 上映会が実
現しました。本当に嬉しかったです。

統計	出席	会員	ゲスト/ビジター
夜談会 (9/9)	8	3	5
月例会 (9/21)	5	4 (ZM 1)	1
DVD 会 (9/23)	19	2	14/3

ワイズメンズクラブ 紹介

ワイズメンズクラブ国際協会 (Y's Men International) は国際的青少年教育団体 YMCA を支える社会人のクラブの集まりであり、若者と地域への奉仕を目的とする団体です。政治信条・性別・肩書きや年齢差に関係なく国内外の交流を進めています。

埼玉クラブは浦和区を拠点に活動しています。ボランティア活動、国際協力、青少年育成に関心があり、責任感のある方は年齢・性別に関係なく募集しています。宗教団体・利益団体ではありません。

詳細は埼玉クラブ会長 浅羽まで。(090-7426-5553) または Y's Men International 東日本区の下記 URL をご参照ください。 <https://ys-east.or.jp/#gsc.tab=0>



市民・ボランティア活動を長らく続けている人たちはそれぞれ何か聞いてもらいたいメッセージを胸に秘めているのかもしれない。本企画の話し合いの部もあえて進め方など提示しなかったが、どのグループも自主的に話し合いにのめり込んだ。そしてたゆみなく聞こえてくる皆の声が多声合唱のように耳に心地よかった。❖ (浅羽 記)

World YMCA News

現在さいたま市内には YMCA はないが、埼玉 Y's は埼玉 YMCA をサポートをし、世界の YMCA にも目を向けていきたい。ブリテンのスペース次第でインターネットから面白い話題をシェアしたいと思う。(編集士)



8 月 12 日の国際ユース・デイにアジア太平洋 YMCA 同盟 (APAY) はオンライン・セミナーに若者を招いて、彼らと 4 人の専門家が一緒に職業を選ぶ上で大切なことを一緒に考える場を提供した。19 カ国から 93 名の若者が参加して 1) 有意義な職業とは何か、2) どうしたら仕事に情熱を保てるか、3) グローバルな課題に取り組む起業家になりたい、4) YMCA の職業訓練所